

りゅうおう

議会だより

No.185

2018年11月1日
滋賀県竜王町議会



- 議会報告会 P2~ 地域活動の状況と課題
- 定例会報告 P4~ コンパクトシティ化の検討懇話会がスタート
- 一般質問 P10~ 全国学力テストの対応
- 追跡 P19 滋賀山面工業団地の進捗状況は？
- シリーズ P20 いきいき人生

中学生チャレンジウィーク 関連記事…P20

9月
定例会

議会報告会を開催!!

今年度は民生委員児童委員との意見交換



各分会からの活動報告

開かれた議会の活動の一環として8月20日、議会報告会（意見交換会）を、役場で開催しました。
 今回の報告会は、地域に密着して活動されている民生委員児童委員のみなさんに、地域の状況や活動にあたっての課題をお聞かせいただき、意見交換しました。

テーマ「地域活動の状況と課題」

民生委員
 児童委員の
 活動とは？



生活のさまざまな相談活動や、地域の見守り活動等の活動をしています。

意見交換会は、各分会からの活動報告のあと、5つの分科会に分かれて、活動を通して感じられていることや、課題等、多くの意見等を出していただきました。今回の機会を通して、地域での活動の中から見えてくる地域の状況について、理解を深めることができました。

みんなが支えあい住みよい地域に

情報収集は、それぞれが工夫しながら、地域内の福祉ニーズの把握に努めておられることがよくわかりました。プライバシーの問題もあり、情報収集に苦慮しているとの声もありました。



相談内容が多岐にわたり対応が難しい。

情報収集はどのように？

- ・自身が地域内に出向いて確認
- ・地域の事業に参加して収集
- ・行政、自治会からの情報
- ・チラシ等を配布して民生委員児童委員の活動を知っていた
- ・だけるよう努めている。等

意見交換会での声

自治会役員が1年交代されることが多く、連携に難しさを感じたり、災害時の対応に不安があるとの声がありました。

自治会との連携は？

- ・福祉委員等の役員と連携
- ・災害時の要配慮者の把握
- 等

相談を受ける家族との対応の中で、もう一步踏み込めないこともある。



複数の自治会を担当する委員は、特に情報収集がしにくい。

複数体制で巡回訪問に臨みたい。



災害時要配慮者支援マニュアルの充実を自治会と連携して活動したい。

行政から一定の的確な情報を得たい。



委員として地域の年間計画を作成し、活動したい。

課題解決に対する声



意見交換会でのみなさんの声を、今後の議会活動に生かしていきます。

議会報告会を振り返って

議会活動に生かす

活動の状況や課題をうかがえたことは、更なる活動への理解につながり、大きな成果でした。

今後も、ともに本町の社会福祉の増進に向け取り組んでいきたいと考えています。

平成30年度竜王町一般会計補正予算の審議が行われ、前回までの55億5,616万円の予算額に、9,336万円を追加することが全員賛成で可決されました。主な内容を紹介します。

平成30年度
補正予算
(一般会計)

新規

コンパクトシティ化の
検討懇話会がスタート

詳しい内容は、委員会活動をご覧ください。P8

コンパクトシティ化とは？

居住や教育・医療・福祉・商業・公共交通などのさまざまな機能の配置を検討し、将来にわたり、全ての町民が安心して暮らし続けることができるまちづくりをめざします。

小口地先から役場付近を望む

新規

ため池ハザードマップ 作成のための費用 (1,000万円)

- 問** 何か所を対象として作成するのか。
- 答** 平成30年度に作成するマップの対象は10か所。決壊時に、人命に関わるような危険度が高い「農業用ため池」からマップの作成を進めていく。



農業用ため池(山之上地先)

新規

畜産競争力強化対策 整備のための費用 (5,597万円)

- 問** この事業の内容は。
- 答** 町内の畜産事業者への家畜用施設と電灯や水道などの整備に対する補助。計画では、324頭の牛を増やす予定。



拡張される畜産施設

平成29年度
一般会計
決算

経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、穏やかに回復

平成30年第3回定例会は、9月3日から26日までの24日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、条例関係3件、平成30年度一般・特別会計補正予算5件、平成29年度一般・特別会計等決算認定8件、人事案件2件、決議1件、その他1件の合計20件を審議しました。

慎重審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

決算審査の主な内容は6・7ページに掲載しています。

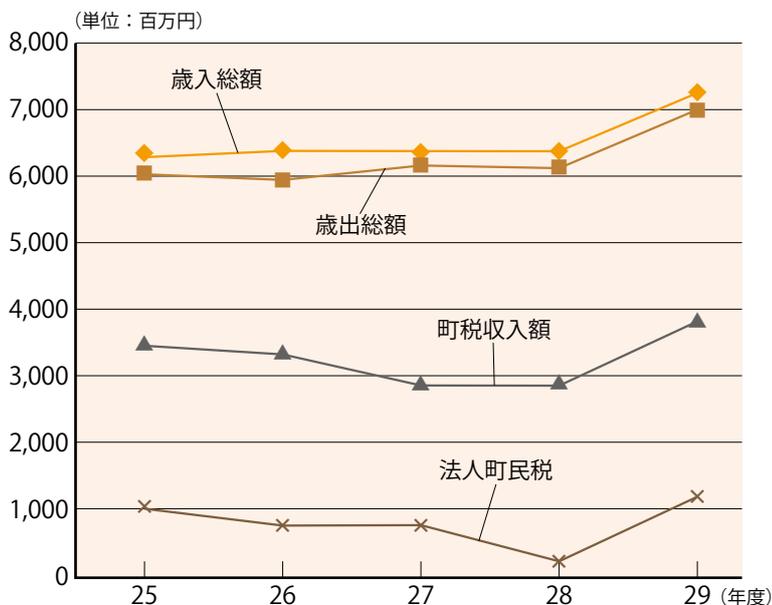
歳出

積立金(約13億6,000万円)、災害復旧費は大幅な増加
竜王インター周辺の整備費は造成工事・インフラ整備の
完了により大幅に減少

歳入

法人町民税、前年度より
約9億6,800万円増加
385.4%の増加

【過去5年間の法人町民税などの推移】



概ね適正に運営されている

— 監査委員の審査結果と意見(要旨) —

決算内容は、相対的に大きな不用額がある項目もあったが、概ね適正に運営されているものと認められます。

町税、国民健康保険税などは、滞納が依然として多い状況にあります。

今後、行財政改革ならびに業務の効率化をより一層図られ、住民福祉の向上に努められることを期待します。



貴多監査委員



吉田監査委員

平成29年度一般会計決算額

歳入 73億7,509万円
歳出 70億5,323万円

平成29年度 決算審議
(予算決算常任委員会)

平成29年度決算は、9月13、14、18日の3日間にわたり、施策や事業などのチェック、次年度予算へ反映するための今後の課題などについても審議しました。

今回は、教育・福祉、生活環境、産業・観光など分野別にチェックした、主な施策・事業を中心にご紹介いたします。

審議の中での指摘

町税等の滞納が依然として多く、初期対応を適切に行い、収入確保に努められたい。

私たちの税金、どう活かされた？

町税等の滞納対策が課題

福祉教育

学童保育所が増床

問 竜王小学校区の学童保育所が増床されたが、その評価は。

答 教室は快適な空間となり、子どもは伸び伸び過ごしている。また、保護者からも改善に対する評価の声をもらっている。



平成30年度から新たに校内に増床された学童保育所

地域の生活支援体制の整備は

問 「地域カルテ」の作成状況は。

答 すべての自治会のカルテを作成し、区長、民生委員、福祉委員などの研修会で資料提供をしている。

地域カルテとは…

地域の現状を見える化したもの。地域の強みや弱みを把握してこれからの地域づくりに役立てられます。

学校給食センターのあり方は

問 施設や厨房機器の老朽化が進む中、施設のあり方をどのように考えているのか。

答 小学校の改築が必要な時期がきているため、学校施設のあり方の検討と並行して考えていく。



築30年以上経過した給食センター

災害 生活 環境

昨年10月に竜王町を
襲来した
台風21号による
甚大な被害



復旧工事が終了した町道須恵窪野線

地域の要配慮者支援は

- 問** 災害時の要配慮者支援で、地区ごとに対象者が集約されているが、その状況は。
- 答** 自主的に登録されている方は170名。また、町全体として要件に該当する方は約2,700名である。

空き家などの対策は

- 問** 空き家の件数が151件、空き地の件数が267件であるが、具体的な対策は。
- 答** 所有者への意向調査を進めている。また、今年度、空き家等対策の計画策定を行う。



町内の空き家

産業 観光

田園資料館の活用は

- 問** 田園資料館の改修による今後の活用は。
- 答** アグリパーク一帯をスキヤキプロジェクトの情報発信基地として位置づけている。そのため、近江牛の展示コーナーや空調設備を改修してきた。今後、町のPRブースや体験ブース、古民家の活用を一層図るため、改修工事を行う。



昔の農家の暮らしを再現した資料館

公共交通対策は

- 問** 定期券の購入者と夜間特別便のタクシーの利用者の現状は。
- 答** 増加傾向にある。定期券助成は60人を超えている。夜間特別便のタクシー利用は、ほとんど毎日ある。



竜王町公民館前のバス停

まち づくり

若者交電コーディネーター事業の 取組は

- 問** どのような活動をされたのか。
- 答** 新たな企画は難しく、前年度のようなイベントは行わず、まずは、メンバーを増やす取組を行った。

総務産業建設常任委員会

調査 コンパクトシティ化検討動き出す

中心核に公共施設を整備
その周辺を市街地整備に繋ぐ

- 問** 議会との関わり方は。
- 答** 意見交換できる場を設定する。
- 問** 農業との位置づけは。
- 答** 農地の集約化、農業の大規模化、若者の参加を含め、プロジェクトチームを立ち上げて検討する。
- 問** 中心核の住宅構想は。
- 答** 中心核に公共施設を個別開発し、市街地整備をする中で、民間活力による住宅整備を進める。



町民ワーキングで思いを語る町長

検討スケジュール

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～	
コンパクトシティ化、 グランドデザイン検討	現況、将来予測、 先進事例	コンパクトシティ化			グランドデザイン		取り まとめ	コンパクトシティ化構想・ グランドデザインの策定	町民・事業者等への提示・ 意見交換	
庁内プロジェクトチーム	概ね月2回のペースで開催									
関連プロジェクト <small>(教育、医療、公共 交通、公共施設)</small>	総合調整		総合調整							
懇話会		第1回(9/28)		第2回	第3回	第4回 (公開)				
町民ワーキング		第1回(9/7)	第2回	第3回						
町議会				中間報告	中間報告		最終報告			

議会広報特別委員会

研修 全国町村議会広報研修会

7月10日に広報183号のクリニックを受けました。

視察 埼玉県寄居町議会視察研修

7月11日、昨年度町村議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞された寄居町議会で、住民に親しまれる議会広報の視察研修をしました。

視察研修受入

- ・岡山県津山市議会
- ・福井県大野市議会
- ・岐阜県養老町議会

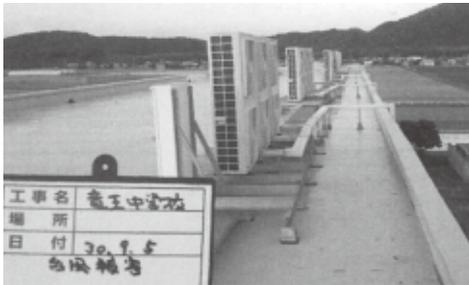


教育民生常任委員会

調査 学校園の危機管理

教育委員会のコンプライアンスの現状

- **安全教育**
「自分の命は自分で守る」を基本に危機回避や危機検知能力を身に付ける。
- **施設や設備等の点検・管理**
日常的な定期点検、危機管理意識の向上
- **危機に備える組織活動**
教職員が訓練や研修を行い、危機対応能力を向上させ、チェックリスト(点検一覧表)を活用し、管理を徹底する。
- **いじめ防止の取組**
教職員による全児童生徒との教育相談や、学校生活アンケートの実施、児童生徒が主体となる取組も定着してきている。



台風の被害を受けたエアコンの室外機

調査 全国学力学習状況調査結果

中学校の理科を除いて全国平均を下回る見直しが必要なところ

- 生きて働く「基礎基本の力」が十分に定着していないことや、主体的に学ぶ姿勢が十分に育っていない。
- 家庭学習の習慣化や家庭学習時間の短さに課題がある。

良いところ

- 自尊感情が高く、規範意識やいじめは許さないという意識がしっかりしている。
- 地域に対する愛着や感謝の心が育っている。

これを受けて…

- ・「基礎基本の力」が十分に定着していないことを全教職員が重く受け止め、学校の組織力を生かして、生きて働く「基礎基本」の徹底に取り組む。
- ・町教育委員会と各学校、家庭、専門家と連携し、全町的に改善に取り組む。

地域活性化特別委員会

調査 住宅整備状況

小口市街化区域

住宅開発のスケジュールは、開発検査・建築確認を受けた後、工事が行われ、12月末に建築工事が完了予定で、来年1月より入居を開始。

須恵地区(社員寮)

年内に地区計画・開発関係の手続きを行い、2020年2月に完成予定。



調査 滋賀竜王工業団地の進捗状況

工事の進捗状況

多目的広場整備工事が10月末で竣工し、団地内の公共工事はすべて完了する。



町政

ここを聞く!

9月定例会では11議員が
17問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
11	山田 義明	減災のための防災用排水ポンプの常備を
	松浦 博	友好親善使節団派遣の今後は
12	小西 久次	国民健康保険診療所(医科)の今後は
		まちづくりによる農政への影響は
13	森山 敏夫	土砂災害の危険度は
		ため池の防災対策は
14	貴多 正幸	全国学力テストの結果を受けての対応は
	菱田 三男	町長任期、後半の優先課題は
15	内山 英作	国際友好親善は
		日野川堤防の安全性は
16	森島 芳男	竜王町の所有者不明の土地等は
		人口減少に歯止めをかける提言書は
17	古株 克彦	ため池の管理は
		防犯灯の設置は
18	若井 猛志	多発する災害から何を学ぶか
		給食費の無償化は
19	岡山 富男	障がい者の災害時・防災避難対応は

一般質問って?

町の行政全般について
議員が町長をはじめとして
担当部局に疑問点を質したり、
見解などを尋ねたりするもので、
毎定例会で行われるよ

そうだ!! 傍聴に行こう!

議会ではどんな政策が審議されているか、あるいは自分が選んだ議員がどのような活動をしているかなど、傍聴は議会の動きに触れることのできる身近な方法です。

議会事務局 (☎58-3713) にお問い合わせ下さい。

次回の一般質問は12月18日(火)予定



問 排水ポンプ等により内水を高水位時に日野川へ排水することは、河川堤防、下流域への影響を考えると状況を見極める必要がある。
住宅等人命に関わる場合や、浸水害を想定され

問 豪雨時に町内から日野川に流れる河川は、日野川の水位が上昇すれば河川のフラッグゲートが閉じ、町内に降った雨は閉じ込められる。
この状態を最小限に抑えるために、この水を排水する防災用排水ポンプを常備してはどうか。



山田 義明 議員

問 減災のための防災用排水ポンプの常備を

答 排水ポンプ車の応援で対応する

る場合は、滋賀県を通じ排水ポンプ車の応援での対応を考えている。
本町が考える、これらの河川に対する減災の取組は、日野川の早期抜本改修である。
今後、J R橋、新幹線の改修にあたっては、多額の経費が掛かり、事業の進捗が遅くなること想定され、早期に改修されるよう、国・県に対して強く要望していく。



牽引用二輪台車型ポンプ



松浦 博 議員

問 友好親善使節団派遣の今後は

答 定期的な交流ができるよう進めていく

問 スーサー・マリ市との友好が永続的な交流となり、さらに絆が深まるよう取り組みとメッセージを送られた。今後も、住民相互の交流をどのように進めるのか、また派遣団の募集と選考はどのようにするのか伺う。

答 本町とスーサー・マリ市は1974年に姉妹都市提携を締結し、本年で44年が経過した。

町民による友好親善や、中学生による英語学習を含む多様な文化の学習のため、派遣・受入れを実施してきた。

本町の唯一の姉妹都市であり、住民相互の絆を深めるため今後も交流を進める。
しかし、



市制350周年記念イベント
開拓時代の衣装で出番を待つ市民

この事業を継続するにはピープル・アンド・ピープル竜王国際親善クラブや同市の民間団体の協力が必要であるが、メンバーの高齢化やホストファミリー探しに課題があると聞いている。このような状況も踏まえつつ、同市の意向も聞く中で町として今後も定期的な交流ができるよう進めていく。
募集は広報紙とホームページで広く周知し、定員が超過した場合は抽選により参加者を決定する。

問 国民健康保険診療所 (医科)の今後は

答 2021年度に新築し開所予定



小西 久次 議員



建て替えを待つ国保(医科)診療所

問 12月定例会会で施設を建替え、病児保育の併設や予防医学のコーナー・ネットの付加などの機能強化を図ると明言されたが、

- ① 本町の地域医療計画は、町内に分散し進められているが、その基本的な考え方は、あり方検討委員会が設置されたが検討状況は、
- ② 新設するまでのスケジュールは、

答

① 内科医療機関は、開業医も含め町内に無医地区が発生しないように誘致してきた。タウンセンターで民間内科医療機関が開設されたことにより、町内全域がカバーでき、更に充実した。今後、国民健康保険診療所の機能強化を検討したい。

② 町国民健康保険運営協議会から、本町が目指す新診療所のあり方(機能拡充・設置場所)の提言をいただいた。

③ 現在のところ今年度中に場所を決定し、平成31年度に基本・実施設計、平成32年度に建設、平成33年度に開所の予定である。

問 まちづくりによる農政への影響は

答 農業と調和のとれた開発に努力

問 農地転用が法規制により前に進まず国・県に要望されているが、

- ① 農業振興地域における土地利用計画に対する協議状況と反応、今後の対応策は。
- ② 農業の町として多額の事業投資をされているが、まちづくり計画による農政への影響は。

から開発とのバランスを図り、規制緩和等の要請を行う。

② 生産性の高い農業・高付加価値型農業の発展を図ってきたが、町内の情勢も変化し、住宅地等の非農業的土地の需要が高まってきてい

る。「都市的・自然的土地利用」の組み合わせに配慮し、農村環境の維持形成・集落の活力維持に向け、住民の理解を得つつ、計画的な土地利用を図り農業の維持発展につなげる。

答

① 総合庁舎周辺において「構造改革特区」制度を活用した提案を行ったが不承認となった。県からは、「土地改良事業の8年未経問題」や、「都市計画の見直し」が必要であると指導を受けており、進捗が見られない状況であった。

今後、農地の保全や健全な農政を維持しな



次世代を担う子どもたちの農業体験



森山 敏夫 議員

問 土砂災害の危険度は

答 地域住民の命を守る対策が第一



平成25年の台風18号により発生した土石流現場(鏡山・中腹)

問 竜王町水防計画書によると、土石流危険渓流に指定された14箇所のうち、危険度の高いと想定される箇所がどのくらいか、被害はどの程度なのか。

答 竜王町水防計画書に掲載の「土石流危険渓流

箇所」14箇所は、県が調査し選定した。危険度が高いのは、土砂災害警戒区域と特別警戒区域の指定を受けている6箇所の渓流と認識しているが、被害の予測は困難である。

また、現時点で考えられる対策はあるのか。

まずは、地域住民の命を守る対策を第一と考え、地域住民と行政がそれぞれ役割の中でしっかりとした対応を図りたい。

問 ため池の防災対策は

答 適正なため池の施設管理に努める

問 豪雨等により各地でため池が決壊し、人命や財産への被害が発生している。ため池ハザードマップの作成や、ため池整備計画の策定、水防計画等の見直しに向け準備をされているが、次の3点について伺う。



地域防災計画等に位置づけられている農業用ため池(山面、向山溜)

- ①見直しされる主な内容と成果の公表時期は。
- ②成果の周知方法は。
- ③水利が不要となったため池の数とその対策は。

今年度、マップ作成予定の10箇所は、速やかに結果を公開する。

②対象地域住民へのマップ配付や町HPで周知予定である。

③現在、農業用ため池47箇所のうち、8月に実施した点検では不要は3箇所あった。ただし、農業用水以外の目的で

利用されている可能性も考えられ、下流域の影響調査が必要と思われる。

防災対策としては定期的なため池点検の実施と常時水位を下げしておく対策が必要である。行政・自治会・関係機関等と連携し、適正な管理に努める。

答 ①国の計画では、平成32年度までにため池ハザードマップを策定することとされている。併せて本町では、水防計画における重要水防ため池20箇所の指定区分(ため池水防ランク)の見直しを予定している。

今年度、マップ作成予定の10箇所は、速やかに結果を公開する。

②対象地域住民へのマップ配付や町HPで周知予定である。

③現在、農業用ため池47箇所のうち、8月に実施した点検では不要は3箇所あった。ただし、農業用水以外の目的で

利用されている可能性も考えられ、下流域の影響調査が必要と思われる。

防災対策としては定期的なため池点検の実施と常時水位を下げおく対策が必要である。行政・自治会・関係機関等と連携し、適正な管理に努める。



貴多 正幸 議員

問 今年度実施された全国学力・学習状況調査の結果はどうであったのか。
また、滋賀県教育委員会から学力向上に向けた改善策の提示等があったのか。

答 今回の学力調査の結果については、中学校の理科以外、全国平均を上回ることができず、大変厳しい結果であったと受け止めている。

県教育委員会も今回の学力・学習状況調査の結果を非常に深刻に受け止め、県から担当課長が本町を訪問され、学力向上に向けた改善策の方向性を示された。その中でも

問 全国学力テストの結果を受けての対応は

答 全町を挙げて

学力向上に取り組む

「学習のまとめと振り返り活動」、「できる・分かる喜びと自信」の重要性について再確認した。町内小中学校は、すでに「生きて働く基礎基本の徹底」と「分かって楽しい授業づくり」に向け、具体的な取組を始めている。今後も家庭やPTA、地域とも、しっかりと連携を図りながら、子ども達一人ひとりに確かな学力を育むために全力で取り組んでいく。



ICT器機を使っでの授業風景

問 町長任期、後半の優先課題は

答 グランドデザイン策定とコンパクトシティ化



菱田 三男 議員

10年後のコンパクトシティ化構想のイメージ



問 町長の任期は4年であり、今年の6月で2年が過ぎた。残りの任期で、特に町長が優先しようとしている施策と、それに向けた今後の取り組み方針について伺う。

答 残る期間の優先課題は、「グランドデザイン策定とコンパクトシティ化

検討事業」と考えている。来春までに「10年後のコンパクトシティ化構想」と「30年後のグランドデザインイメージ」を描き切りたい。来年4月以降は、皆様に公表し意見を頂き、今後のまちづくりの方向性として完成させ、実行計画を定めていきたいと考えている。



内山 英作 議員

問 国際友好親善は

答 新たな姉妹都市提携は、
今後研究する

問 滋賀県とアメリカ・ミシガン州との姉妹県州協定は今年で50周年、また、中国・湖南省とも友好協定締結35周年を迎える。
本町もスーセイ・マリー市との国際友好親善は、44年になる。
そこで、県内のいくつかの市で結んでいる湖南省の各都市との姉妹都市提携をどう考えているか、伺う。



スーセイ・マリー市役所(右下の建物)と周辺の街並み

答 今日まで築き上げてきたスーセイ・マリー市との友好親善(きずな)をより一層強力なものにしたいと考えている。
一方、中国湖南省の各都市や町内企業と縁がある東南アジア諸国の都市も含めて町民の皆様の考えなどを踏まえた上で、姉妹都市提携の可能性についても研究していく。



人家が日野川堤防に隣接している(弓削地先)

答 これまでからも河川改修事業により下流から順次、流下能力の拡大を図っていくための対策などが行われている。
近年の異常気象による大雨に対して、堤防の決壊が確実に回避できると言い切れない。
そこで、県では、町内を流れる日野川堤防、約8kmを対象に、人家など人命被害の可能性が高い区間を順次、堤防強化対策工事などの安全対策をするため、優先度評価が実施されている。今後、これを受け、対策工事が行われる予定である。

問 日野川堤防の安全性は

答 県で堤防強化対策が実施される

問 岩井地先から鏡地先の日野川左岸の堤防が、昨年の台風21号

の大雨のように水位が異常に高くなった場合、決壊が回避できるか。

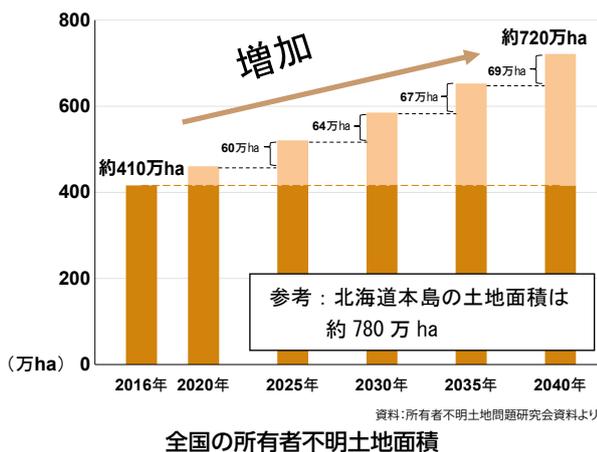
また、決壊を防ぐための安全性の確保に對しての具体的な対策は。

問 竜王町の所有者不明の土地等は

答 所有者不明土地の発生を抑制する



森島 芳男 議員



問 所有者不明土地とは「所有者台帳(不動産登記簿)により、所有者が直ちに判明しない、または判

明しても連絡がつかない土地」と定義されている。本町では、平成30年度固定資産税の課税において、全納税者のうち7件約4,792㎡の土地が所有者不明を原因として納税通知が返戻されている。本町では、公共事業の用地取得で1件が所有者不明土地に該当している民間開発事業の妨げについての事例は聞いていない。

答 所有者不明土地とは「所有者台帳(不動産登記簿)により、所有者が直ちに判明しない、または判明しても連絡がつかない土地」と定義されている。本町では、平成30年度固定資産税の課税において、全納税者のうち7件約4,792㎡の土地が所有者不明を原因として納税通知が返戻されている。本町では、公共事業の用地取得で1件が所有者不明土地に該当している民間開発事業の妨げについての事例は聞いていない。

問 全国では、農地・山林などの持主が分からない土地が増加している。本町で所有者不明の土地等があり、公共事業・民間開発の推進等の妨げになっていないか。また、そのような土地の件数や面積はどのくらいあるのか。

問 人口減少に

歯止めをかける提言書は

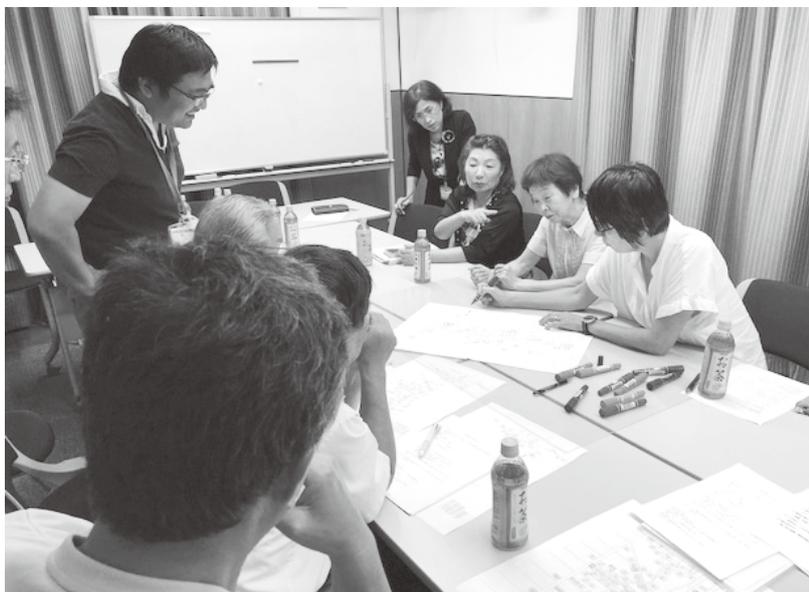
答 若者にも定住してもらえよう取組む

問 平成29年9月27日に、人口減少対策特別委員会がまとめた、政策提言書を、町長あてに提出した。現時点において提言が生かされた取組みがあるか伺う。

答 昨年度から地域支援合いモデル事業を実施している。平成30年度は弓削と西川自治会が、各世代が参加して、外出支援や、災害時の支え合いのしくみづくりなどに取り組まれており、町として支援している。

学童保育の充実と拡充については、今年度から、まっほっくり児童クラブの児童数が増加したため、小学校の利用可能教室の整備を行い、2クラスの編成として対応している。

新規就労者の定住に向



モデル事業にて、これからの地域づくりの話し合いをしている様子(西川)

けた対策は、松が丘地先の集合住宅や、須恵地先の社員寮の整備が進んでいる。

若者交流は、青年団や R S N S と連携支援を図り、定住してもらえる町づくりに向けて取り組んでいく。



古株 克彦 議員

問 ため池の管理は

答 自治会等で維持管理



竜王八景の深田池(小口)

問 平成15年頃、ため池等整備事業においては、県下で数箇所のうち、1箇所を選ばれ、護岸補強等を実施されたが、その後の管理について伺う。

答 ①町内で管理しているため池はいくつか。そのうち、日野川用水のため池の数は、漏水しているため池はあるのか。
③ため池の浚渫計画は。

答 ①農業用ため池は現在47箇所である。そのうち、日野川流域土

地改良区が維持管理を統括している農業用ため池数は26箇所である。日野川流域土地改良区と当該自治会長または、地元水利組合との間で「溜池等の管理委託協定書」を締結され、当該自治会等で日々の維持管理を行っている。
②7月の西日本豪雨災害を受け、国からため池の緊急点検を実施するよう指示があった。その結果、緊急修繕を要する箇所は見受けられなかった。
③現在、浚渫計画はない。

問 防犯灯の設置は

答 通学路を優先的に

問 防犯灯は県管理、町管理、自治会管理に分かれているが、その区分けはどうか。

答 防犯灯は県管理、町管理、自治会管理に分かれているが、その区分けはどうか。



防犯灯の設置が待たれる(薬師地先)

答 県道の交差点に設置された道路照明灯は県が設置と管理をしている。町道交差点と集落間を繋ぐ道路には、通学路を中心に町が設置し、管理を行っている。

また、集落内は、自治会で、主に「自ら考え自ら行うまちづくり事業」を活用し、整備いただきたい。

薬師の集落内を通る県道春日竜王線は、県による歩道拡幅工事が計画されており、この区間は、通学路にも指定されている。特に子どもたちの安全を確保していくとの観点から優先的に防犯灯の整備が必要と考えている。



若井 猛志 議員

問 多発する災害から何を学ぶか

答 防災・減災を更に進めていきたい

問 各地に甚大な被害を出した豪雨や台風などが続いているが、町の備えは大丈夫なのか。次の点について伺う。

- ① 地域防災計画の見直しは、どこまで進んでいるのか。
- ② 大雨が近年増えているが、避難所の浸水の危険はないのか。
- ③ 土砂災害の危険箇所の整備はどのようになっているのか。
- ④ がれきや土砂の撤去が課題になっているが、どのように考えているのか。

おり現状では適当であると考えている。

- ③ 今年度は、鏡山ハイキングコース付近において、国が土砂流出防止の堰堤工事を実施中であり、足洗川支流についても県が工事をする予定となっている。
- ④ 中部清掃組合を構成する市町で、勉強会を立ち上げた。平成32年度をめどに災害廃棄物処理計画を策定していく。

答 ① 具体的な検討を行い

防災会議で意見をいただき、31年度にかけて見直しを予定している。

② 公共施設において強靱な構造、階層等から判断すると、活用できる施設は限られて



台風による倒木(西小学校付近)

問 給食費の無償化は

答 子育て支援の視点から方向性を考えたい

問 憲法26条において「義務教育は、これを無償とする」とされているが、現実には無償なのは授業料と教科書に限られ、保護者の経済的負担は大きい。

給食費の無償化は子どもたちへの「現物給付」として大きな意義があるが、どう考えているのか。

答 文部科学省の調査では、給食費の無償化の効果として、保護者の経済的負担の軽減等、子育て支援の充実、少子化対策、定住、転入の促進等が示されている。

しかし、無償化には恒常的に5,000万円が必要で、限られた財政の中で他の歳出を削減する必要があるので、取捨選択することになるが、子育て

支援の視点を踏まえて、今後方向性について考えていきたい。



県内では、1市1町で無償化が実施されている。



岡山 富男 議員

問 本町では、町内2つの社会福祉法人と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を結び、当該法人が所有する施設を竜王町地域防

問 地震、台風等、自然災害時における障がい者、特に自閉症の人達とその家族が安心して避難できる体制が望まれる。

答 本町における取組はどのようなものか。

災害時における障がい者、特に自閉症の人達とその家族が安心して避難できる体制が望まれる。

地域では、要配慮者の支援者であらかじめ決めて、平時から連携を密にし、災害時に備えて迅速な行動が取れるよう訓練をする等の取組が広がってきている。

障がいへの理解を深め、避難所において適切な支援につなげるための職員研修をはじめ、更なる住民啓発や自閉症の人にも分かりやすい防災教育、防災訓練に共に取り組むこと等が今後の課題であると認識している。



町総合防災訓練

問 障がい者の災害時・防災避難対応は
答 要配慮者にもわかりやすい
防災に取り組む



追跡!!

あの一般質問はその後どうなった??



議員の質問に、町がその後どのように対応したかを追跡・検証してみました。

滋賀山面工業団地

(雷国まいたけ工業団地)の進捗状況は
(平成20年5月 一般質問より)

問 造成工事が完了したが、建設計画はどのようになっているのか。

答 町と地元からの厳しい要請に応える形で、事業者が本年度中に工場建設の判断をする。

◎その後

未利用地は、工事が進まない中、農村地域工業等導入促進法の計画を変更し、敷地を分割して企業誘致を進めることとなった。

滋賀山面工業団地として分譲された土地は、現在8区画のうち7区画まで進出企業が決まり、一部の企業が操業を開始している。



建設が進む山面工業団地

信濃在住 なか え ふみ こ 中江 文子 さん

シリーズ いきいき人生

すべての出会いに感謝



子ども達に優しく指導されている中江先生

町内の保育園や幼稚園でお習字や毛筆体験を通して子ども達に関わらせていただき、20年が経ちます。子ども達には、「2本の指を仲良く他の指を添えて持ってね。」と鉛筆の持ち方の基礎基本を指導しています。園を訪れると、毎回、子ども達の元気な笑顔に迎えられ、私自身を明るくしてくれています。

学校の卒業と同時に大好きな書を通教育で毛筆を学び、その後、ペン字の習得にも励み、書の道へと

歩みを進めました。

また、当時、文部省の認定試験にも挑戦し、おかげさまで毎回合格することができました。

その際、試験監督の先生にも温かい言葉をかけていただき「よーし、やるぞ」と心のスイッチが入り、精進して今日に至っています。

私は、幼少の頃、東寺の初弘法にお参りした後、大きな事故に遭いましたが、おかげさまで一命は取り留めることができました。

このようなことから、神仏にご縁があり、弘法大師空海の写経（隅寺心経）を学ぶことに繋がりました。

また小学3年生の時、父に連れられ北野天満宮に参拝しました。父に、天満宮に祀られた菅原道真公について話を聞きながら、鳥居をくぐったとき「習字の先生になりたい」という気持ちが私の中に宿りました。今では、その願いが現実となり、願いはかなうと確信しています。

今まで多くの方にご縁をいただきましたこと、感謝申し上げます。格言の中で“世の中で一番楽しく立派なことは、一生涯を貫く仕事を持つことである。”という言葉がありますが、今後も書を通して少しでも世のため人のために尽すことができればと思っています。

表紙

中学生チャレンジウィーク

キャリア教育の一環として、10月上旬に5日間、中学2年生が、勤労体験学習をしました。「社会」の中に勤労者として身を置き、机上では学びきれないことが学習できた貴重な5日間となりました。



体験では、お店の方から教えていただき、実際にやってみると「思ったより難しいなあ」と感じることもあったのですが、「仕事の大変さ」を知る良い経験となったのではないのでしょうか。今後、次世代を担う子ども達の成長していく姿を楽しみにしています。

編集後記

今年は、大雨や台風が多い年で全国的に大きな被害が出ました。

竜王町でも人的被害はありませんでしたが、多くの農家用ハウスの倒壊やビニールが破損し、住宅や公共施設でも屋根等に被害がありました。

9月定例会の最終日には被害の報告を受け、10月に臨時会を開催し、補正予算を組んで対応しました。議会としても、災害に対して日野川などの早期改修を、国・県に強く要望・陳情活動を推し進めていきます。

- 議会広報特別委員会
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 内山 英作 |
| 副委員長 | 古株 克彦 |
| 委員 | 菱田 三男 |
| 委員 | 小西 久次 |
| 委員 | 若井 猛志 |
| 委員 | 貴多 正幸 |



環境に配慮し、再生紙及び植物油インキを使用しています